

**【近畿ESDコンソーシアム・学生によるESD活動支援】**  
**大牟田市立みなと小学校オンライン交流会 活動報告書**

社会科教育専修 3 回生 根本 優

1. 日時 2021 年 7 月 14 日 (水) 13 : 00~13 : 30
2. 場所 Zoom によるオンライン開催
3. 参加者 学部 4 回生 足立 繁郁 (社会科教育専修)  
学部 3 回生 佐藤 ころろ (音楽教育専修)、根本 優 (社会科教育専修)  
学部 2 回生 松岡 花、森 恵里奈 (音楽教育専修)  
川田 大登 (国語教育専修)  
川口 綾菜 (英語教育専修)  
修士 2 回生 谷垣 徹 (英語教育専修)  
次世代教員養成センター 中澤 静男  
大牟田市立みなと小学校 みなと ESD 進め隊! 児童・主幹教諭 下地 徹 先生  
大牟田市教育委員会 指導主事 高倉 洋美 先生

#### 4. 活動の概要

2021 年 7 月 14 日、福岡県大牟田市立みなと小学校と Zoom によるオンラインで交流を行った。前年度に 2 回交流を行っていたが、今回の交流は今年度初めての交流会ということもあり、自己紹介を行い、お互いのことを知り合う会だった。みなと小学校の児童たちは、名前と自分の好きなものを紹介し、そして奈良教育大学の学生たちは、名前と奈良の好きなところを紹介した。今後、みなと小学校とさらに交流を深めていく予定なので、その最初の段階として有意義な交流会となった。

#### 5. 参加学生の学び・感想

今回の交流会を通して考えたことは、「繋がりを絶やさない」ということだ。昨年度に引き続き、今年度も大牟田市立みなと小学校「みなと小学校 ESD すすめ隊!」と交流する機会を持つことができた。大牟田市の子どもたちとの関わりから学べること・気づくことが多く、教員になってから活かしたいことを得ることができた。みなと小学校との繋がりをこれから更に強固なものにし、次の世代へ引き継いでいきたいと感じた。 足立 繁郁 (社会科教育専修)

私は今年からみなと小学校との交流会に参加した。交流会が始まる前、子どもたちが緊張しているのが画面越しにも伝わった。私も初めてだったので緊張した。しかし、お互いに自己紹介をしていくうちに、打ち解けることができた。また、質問時間には子どもたちから、奈良に関する質問が出てきており、奈良について知りたいという積極的な姿が見られて、うれしかった。これからお互いのことを知って、活発な交流会にしていきたい。 根本 優 (社会科教育専修)

自己紹介と軽く質問タイムで終わったが、しっかり交流できたように感じた。初回の交流から参加していますが、回を重ねるたびに小学生の人数が増えていて、嬉しかった。これからも、子どもたちと一緒に学んだり、それぞれの地域について知ったりしていきたいと思った。次回からの交流も積極

的に参加したい。

松岡 花（音楽教育専修）

昨年一度だけ交流会に参加させて頂き、今回2回目の参加だったのですが、前回同様子どもたちが目の前のモニターにしか見えていない私たちにハキハキと自己紹介してくれていたのが印象的だった。1年生から6年生まで多くの子どもたちと関われる機会があり、とても嬉しい。子どもたちから質問が出るなど、これからの交流会で子どもたちと積極的にコミュニケーションを取れる機会が多くあると感じ、とても楽しみだ。

森 恵里奈（音楽教育専修）

30分という短い時間だったが、小学生も大学生も全員が自己紹介をすることができ、お互いを知れてよかった。今回、初めて参加しましたが、自己紹介を聞いたり、子どもたちの様子を見たりして、今後の活動が楽しみになった。子どもたちは元気でハキハキ話していたし、最後の質問タイムでは、世界遺産や奈良のごはんに関する質問が間髪入れず出ており、積極的な姿勢だったからだ。今後も、昨年にも増して活発な交流をしていきたいと思った。

川田 大登（国語教育専修）

今回の交流会を通して、お互いのことを知れただけでなく、今後もこのような機会を大切に、交流を続けていきたいと強く思った。みなとESDすすめ隊！には、6年生から1年生まで、個性溢れる素敵な子どもたちがたくさん参加した。私たちの話を熱心に聞き、疑問を抱き、積極的に質問して下さった姿が印象に残っている。今後は、私たちが今まで学んできたことや知識を先輩として伝えたり、みなと小学校の皆さんが経験してきたことや素直な意見を聞いたりすることで、お互いに視野を広げ成長していきたい。地域も世代も越えたつながりを生かし、ESDを推進していけるよう今後も熱心に取り組んでいきたい。

川口 綾菜（英語教育専修）

今年度もみなと小学校とのオンライン学習交流会が始まった。交流会前日の7月7日が、ちょうど豪雨災害から1年ということで、とても大きな意味を持つ交流であった。みなと小学校では前日に、丸一日かけて全校で防災・減災教育に取り組み、その様子を動画で紹介して下さった。私たちユネスコクラブの中でも世代の継承が進んでいく中で、活動の原点やその思いを振り返る機会を大切にしたいと感じた。みなと小学校では、昨年立ち上がった「みなとESDすすめ隊！」にますます多くの児童が参加してくれていて、これからの活動を楽しみに感じるとともに、小学校と大学、それぞれにとってwin-winで有意義な、持続可能な交流を続けていくためにできることを考えたいと思った。

谷垣 徹（英語教育専修）

私は、今回初めて交流会に参加した。「みなとESDすすめ隊！」の子どもたちの人数の多さや様子がとても印象に残っている。はっきりと元気よく自己紹介を行い、こちらの紹介にも興味深く質問をしていた。子どもたちの積極的な姿勢に感銘を受けたとともに、教員を目指す上で大切なことにたくさん気付くことができた。話し方や反応の仕方など、改めて考えることができた。これからも、持続的に交流を行い、自分たちの成長につなげていきたいと考えた。

佐藤こころ（音楽教育専修）